

2016 年度

鹿児島大学大学院水産学研究科履修の手引

平成 2 8 年度入学者用

鹿児島大学大学院水産学研究科

1) 概要

鹿児島大学大学院水産学研究科は、「海を怖れず、海を愛し、海を開け」をモットーに鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む海洋や水域をフィールドとし、水産資源の持続的生産とその合理的利用、水圏環境の保全、生活文化の創出の分野で地域貢献と国際社会に貢献する人材を育成することを教育の目的としている。また、平成 15 年には大学教育分野では初めて国際的な品質基準である ISO9001 認証を学士課程を対象に取得した。研究科教育にもこれを応用して、教育改善の一環として学生からの授業評価や学生と教員が一緒になって授業づくりについてのセミナーを開催して継続的な教育改善に取り組んでいる。

2) 教育目標

本研究科は、鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む水圏をフィールドとして、水産資源の持続的生産とその合理的利用及び水圏環境の保全・管理の分野で国際的水準の知識と能力を修得し、熱帯・亜熱帯水域を対象とする諸活動で世界をリードする文化の創出に参画し、地域社会と国際社会に貢献できる高度な水産技術者を育成し、社会に送り出すことを目指すものとする。

目 次

1. 教育組織と教員氏名	1
2. 履修の方法と注意	3
3. 教育課程及び授業科目一覧	6
3. 1 教育課程	6
3. 2 研究科基本カリキュラム開講科目	8
4. 履修規則	12
5. 熱帯水産学国際連携コース	19
5. 1 コース履修上の注意	19
5. 2 熱帯水産学国際連携コース学生向け推奨科目群	21
5. 3 水産学研究科国際連携コース履修細則	23
5. 4 構成大学教員名簿	26
5. 5 構成大学提供科目表	32
6. 留学生プログラム	36
6. 1 プログラム履修上の注意	36
6. 2 留学生プログラム推奨科目群	37
7. 高等学校教諭免許（水産）の教科又は教職に関する科目に該当する科目	39
8. 三級海技士（航海）の受験資格について	40
8. 1 資格と修得すべき科目等	40
8. 2 海技士養成科目群	41
9. 全学横断的教育プログラム	42
9. 1 共通科目	42
9. 2 特別コース	42
9. 3 特別コースの修了証の授与について	44

1. 教育組織と教員氏名 (平成28年4月1日現在)

水圏科学分野	教授	重 廣 律 男
	教授	鈴 木 廣 志
	教授	西 隆一郎
	准教授	久 米 元
	准教授	小 針 統
	准教授	中 村 啓 彦
	准教授	山 本 智 子
	助 教	須 本 祐 史
	助 教	仁 科 文 子
水産資源科学分野	教授	大 富 潤
	教授	越 塩 俊 介
	教授	バスケス A. ミゲル
	教授	増 田 育 司
	教授	山 本 淳
	准教授	安 樂 和 彦
	准教授	石 川 学
	准教授	石 崎 宗 周
	准教授	江 幡 恵 吾
	准教授	小 谷 知 也
	准教授	庄 野 宏
	准教授	西 隆 昭
	准教授	山 中 有 一
	助 教	荒 木 亨 介
	助 教	米 山 和 良
助 教	横 山 佐一郎	
食品生命科学分野	教授	上 西 由 翁
	教授	木 村 郁 夫
	准教授	小 松 正 治
	准教授	塩 崎 一 弘
	准教授	進 藤 穰
	准教授	杉 山 靖 正
	講 師	山 田 章 二
	助 教	加 藤 早 苗
水産経済学分野	教授	佐久間 美 明
	教授	佐 野 雅 昭
	准教授	鳥 居 享 司
	助 教	久 賀 みず保
	助 教	佐々木 貴 文

水圏環境保全学分野（附属海洋資源環境教育研究センター）

教授	小山次朗
教授	前田広人
准教授	宇野誠一
准教授	吉川毅
助教	國師恵美子

附属練習船「かごしま丸」

船長	准教授	内山正樹
主席一等航海士	講師	東隆文
一等航海士	助教	福田隆二
次席二等航海士	助教	三橋廷央

附属練習船「南星丸」

船長	准教授	幅野明正
一等航海士	助教	有田洋一

総合研究博物館	教授	本村浩之（水圏科学分野）
連合農学研究科	教授	寺田竜太（水圏科学分野）
特任教員	特任教授	板倉隆夫

2. 履修の方法と注意

本研究科の教育課程は、すべての学生を対象にした基本カリキュラムと、希望者が選択できる熱帯水産学国際連携コース及び留学生を対象とした留学生プログラムで構成されている。研究科の教育は、学生の研究の指導と授業科目の履修による学修で構成されている。研究科修了には、修了要件に算入される授業科目の履修により 30 単位を修得すると共に、研究指導を受け修士研究論文試験に合格する必要がある。

研究指導は、1名の主指導教員及び2名の副指導教員によって行われる。授業科目のうち、研究指導科目群の履修により修得する単位は上記の修了要件単位に算入されないので、注意する必要がある。

授業科目のうち専門科目と共通科目の履修により修得した単位が、修了要件単位に算入される。授業科目には、必修科目、選択必修科目、選択科目の別がある。選択必修科目の中には、学生が所属する分野によって履修指定がある科目があるので注意しなければならない。

本研究科はクォーター制を採用しているが、2つのクォーターを跨ぎ通常の学期単位で開講されるものもある。時間割に示していない科目の中には、随時又は集中開講されるものと、指導教員が学生と相談等して開講時間帯を決めるものがある。

コース又はプログラムに従った学修を希望する学生は、コース又はプログラムに登録する必要がある。2年間の研究及び科目履修を合理的で実りあるものにするためには、研究科修了後の就職、進学等を勘案し、入学時に2年間の履修計画を立てることが望ましい。コースやプログラムへの登録及びそこでの履修計画についても指導教員と十分に話し合って決める必要があるが、履修規則を熟読し自らの責任で学修することを忘れてはならない。

熱帯水産学国際連携コース

本研究科が連携している海外の大学で授業科目を履修、単位を取得させることで、グローバル人材の育成を目指す教育課程であり、本研究科の修了要件に加えてコースの修了要件がある（「5. 熱帯水産学国際連携コース」を参照）。海外の大学での学修への支援では、本コースの学生が優先される。

留学生プログラム

外国人留学生を対象とし、専門知識及び技術のすべてを英語又は日英両語で開講される科目の履修と研究指導のみで修得し研究科の課程を修了することができるよう、いくつかの特別措置を含めて学修の便を図るための教育課程である（「6. 留学生プログラム」を参照）。

クォーター制

本研究科では、クォーター制（学期を前半と後半（それぞれ a、b と呼ぶ）に分けて運用する制度）を採用している。これは、授業科目を集中的に開講することで、調査・研究活動や海外研修等の自由度を高めるためのものである。履修方法と調査・研究計画の調整については、指導教員と十分に相談すること。なお、総合型指導や英文輪読等を含む一部の科目には、2クォーター連続で（通常の学期と同じ）開講されるものもある。

サマーセッション(S.S.)

各国からの短期受け入れ学生や留学生も交え、本研究科学生に外国人学生と共に学び合う機会を提供しグローバル化を体感できるように設けたものである。授業は1週間単位の集中形式で、基本的にすべて英語又は日英両語で開講される。受講するためには定められた期間に履修登録する必要がある。

科目の区分

授業科目は、研究指導科目、専門教育科目、共通科目に分類される。研究指導科目とは修士論文に係る研究に直結した科目で、すべて必修である。専門科目とは、専門領域に関する学修に係る科目である。共通科目は、所属分野、指導教員に係らず、研究科内共通の教育目的のために開講する科目で、水産業全般を考えたり、職業能力を開発すること等を目的としたものが含まれる。

授業科目は、必修、選択必修、選択科目、自由科目（単位は付与されるが、修了要件には算入されない）にも分かれる。選択必修の中には、所属する分野が開講する科目の履修に限定した指定選択必修科目が含まれる。

修了要件に必要であるが修得単位数には含まれない科目

研究指導科目（修士論文研究、修士研究ゼミ I、修士研究ゼミ II）の 3 科目は必修科目であるが、研究指導に関連する科目であるため、これらの科目の単位は修了要件単位には算入されない。

英語で開講する科目

専門的知識を英語で運用する能力を開発するために、いくつかの科目は英語で開講する。これらの科目は、短期受け入れ学生や留学生の専門知識・技術の修得のための科目も兼ねているので、教室では外国人学生と共に学ぶこととなる。

指導教員と研究課題の登録

入学時に、主指導教員 1 名、副指導教員 2 名及び修士研究の課題名を登録する必要がある。主指導教員の指導を受けて研究及び履修計画を作成し、主指導教員が作成した指導計画書と共に提出すること。なお、在学中に研究課題を変更する場合は、変更届を提出する必要がある。

履修登録

本研究科の指定する期間内に、受講届（Web 登録）により履修する授業科目を登録しなければならない。時間割上の一つの時間帯には一科目しか登録できないが、乗船実習科目については時間割に係らず履修登録ができる。登録に際しては各科目のシラバスを熟読すること。

各学期の登録単位数の上限

修了要件に算入される単位数及びその他の必修科目の単位数として、各学期に登録できる授業科目の合計単位数は、16 単位を限度とする。ただし、サマーセッションに開講する科目、集中開講科目及び随時開講科目の単位数はこの限度に算入しない。

履修登録の変更等

履修登録の変更及び追加は、履修規則に定められている期間にのみ認められる。ただし、定員等の関係で追加登録が認められない場合もあるので、十分に注意すること。

履修規則に定められた条件を満たす場合、履修登録を取り消すことができる。ただし、集中講義の履修登録を取り消したい場合は日程公示後 3 週間以内、かごしま丸による乗船実習科目の履修登録を取り消したい場合は説明会後 1 週間以内に願い出なければならない。

熱帯水産学国際連携コースにおける履修登録の変更については「5. 熱帯水産学国際連携コース」を参照のこと。

他研究科等の授業科目の履修

他の研究科等の授業科目の履修については、定められた手続きにより履修することができる。履修を希望する場合は、指導教員と相談の上学生係に申し出ること。修得した授業科目は、自由科目となる。ただし、指導教員が必要と認めて履修した場合は選択科目とみなすことがある。

全学横断的教育プログラム

所属する研究科に関係なく履修できる、全学で開講されている科目で構成されたプログラムである。本研究科では、これらの科目の履修により修得した単位は、指導教員の許可を得て履修した場合のみ修了要件単位に算入され、算入できる単位数の上限は 5 単位である。

随時開講科目等に関する連絡

乗船実習科目等、開講時期が明示されていない授業科目に関する情報等は、基本的に AGRI-FISH-WEB を通じて通知するので、入学直後にメールアドレス及び携帯電話番号などの学生情報を必ず登録すること。休講情報、開講日時の変更、実験・実習の集合場所等の授業情報も、AGRI-FISH-WEB を通じてメールで配信される。

3. 教育課程及び授業科目一覧

3.1 教育課程

3.1.1 研究指導科目および専門科目

科目群	Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV
研究指導科目 (英語対応)	修士論文研究						
	修士研究ゼミ I						修士研究ゼミ II
専門科目 (英語開講)	Fisheries Food Sciences		Aquatic Sciences				
	Fisheries Economics		Fisheries Resource Sciences				
	Conservation of Aquatic Environment		Aquaculture				
専門科目 (日英両語開講)	水圏科学特別指導			総合型指導 AI		総合型指導 AII	
	水産資源科学特別指導			総合型指導 BI		総合型指導 BII	
	食品生命科学特別指導			総合型指導 CI		総合型指導 CII	
	水産経済学特別指導			リーディングコース II		リーディングコース III※	
	水圏環境保全学特別指導						
リーディングコース I							
専門科目 (日本語開講)	英文輪読 I			英文輪読 II			

※「リーディングコース III」は留学生プログラムの学生のみを対象とした選択科目である。

3. 1. 2 共通科目

科目群	Ia	Ib	Summer Session	II, III, IV	随時	集中
共通科目 (英語開講)		Fisheries and Fisheries Sciences	Management of Tropical Fisheries			
		Tropical Fisheries (Intensive)※				
共通科目 (日英両語開講)			高度分析・調査実習 CHE		高度分析・調査実習 (オープン) ※	高度分析・調査実習 SSC
			高度分析・調査実習 BCH			大学院洋上観測 乗船実習
			高度分析・調査実習 BBI			大学院資源・計測 乗船実習
	留学生日本語※					洋上特別実験
共通科目 (日本語開講)	水産業の課題と未来				地域水産学特別指導	
	島嶼水産学				水産学特別セミナー	
	ビジネスツール特別実習				インターンシップ	
	実用英語 S					

※共通科目でⅡ期以降に開講される科目はない。

※「Tropical Fisheries (Intensive)」は熱帯水産学国際連携コースに登録した学生のみを対象とした科目である。

※「高度分析・調査実習（オープン）」は、熱帯水産学国際連携プログラムの他の構成大学の学生のみを対象とした科目であり、本研究科の学生は受講できない。

※「留学生日本語」は留学生プログラムの学生のみを対象とした選択科目である。

3.2 研究科基本カリキュラム開講科目

※以下の表で印（●、▲、○、△）の意味するところは、以下のとおりである。

● 必修科目 (Compulsory subject)

▲ 選択必修科目 (Elective-compulsory subject) (このマークがついた科目群から1科目を必ず履修しなければならない)

○ 選択科目 (Elective subject)

△ 自由科目 (Non-credit subject)

(1) 研究指導科目 (日英両語開講)

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期							
				1年次					2年次		
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV	
修士論文研究	主指導教員 第1副指導教員、第2副指導教員	必修	4	●							
修士研究ゼミ I	主指導教員	必修	1	●							
修士研究ゼミ II	主指導教員	必修	1							●	
小計			6								

※ 研究指導科目は修了要件単位には含まれない。

(2.1) 専門科目 (英語開講)

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期							
				1年次					2年次		
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV	
Aquatic Sciences	鈴木・重廣・中村・小針	所属分野の 1科目は必 修 その他は選 択	2			▲					
Fisheries Resource Sciences	西(昭)・増田・山中・庄野		2			▲					
Aquaculture	越塩・山本淳・小谷・石川		2			▲					
Fisheries Food Sciences	木村・上西・進藤・板倉		2	▲							
Fisheries Economics	佐野・佐久間・鳥居		2	▲							
Conservation of Aquatic Environment	前田・小山・吉川・宇野		2	▲							
小計			12								

(2.2) 専門科目 (日英両語開講)

授業科目	担当教員	必修・選択	単位数	開講期						
				1年次					2年次	
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV
総合型指導 AI	主指導教員	必修	2				●			
総合型指導 AII	主指導教員	必修	2						●	
総合型指導 BI	第1副指導教員	必修	2				●			
総合型指導 BII	第1副指導教員	必修	2						●	
総合型指導 CI	第2副指導教員	必修	1				●			
総合型指導 CII	第2副指導教員	必修	1						●	
水圏科学特別指導	分野教員	所属分野の 1科目のみ 必修	2	▲						
水産資源科学特別指導	分野教員			▲						
食品生命科学特別指導	分野教員			▲						
水産経済学特別指導	分野教員			▲						
水圏環境保全学特別指導	分野教員			▲						
リーディングコース I	指導教員	選択	2	○						
リーディングコース II	指導教員	選択	2				○			
リーディングコース III※	指導教員	選択	2						○	
小計			18							

※「リーディングコース III」は留学生プログラムの学生のみを対象とした選択科目である。

(2.3) 専門科目 (日本語開講)

授業科目	担当教員	必修・選択	単位数	開講期						
				1年次					2年次	
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV
英文輪読 I	分野教員	必修	2	●						
英文輪読 II	分野教員	選択	2				○			
小計			4							

(3.1) 共通科目（英語開講）

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期							
				1年次					2年次		
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV	
Fisheries and Fisheries Sciences	ミゲル	選択	2		○						
Tropical Fisheries (Intensive) ※	石崎	選択	2		集中○						
Management of Tropical Fisheries	江幡・松岡（非常勤）	選択	2			○					
小計			6								

※「Tropical Fisheries (Intensive)」は熱帯水産学国際連携コースに登録した学生のみを対象とした科目である。

(3.2) 共通科目（日英両語開講）

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期							
				1年次					2年次		
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV	
高度分析・調査実習 CHE	石川・宇野・杉山	選択必修 (左記の6 科目の中か ら1科目を 必ず履修) その他は選 択科目	1			▲					
高度分析・調査実習 BCH	小松・荒木・塩崎		1			▲					
高度分析・調査実習 BBI	小谷・吉川		1			▲					
高度分析・調査実習 SSC	鳥居・佐久間・佐々木		1	集中▲							
大学院洋上観測乗船実習	内山・中村・小針・仁科		1	集中▲							
大学院資源・計測乗船実習	内山・西・山中・安楽		1	集中▲							
高度分析・調査実習（オープン）※	受入教員		1	随時△							
洋上特別実験	幅野・指導教員	選択	1	集中○							
留学生日本語※		選択	2	○							
小計			10								

※「高度分析・調査実習（オープン）」は、熱帯水産学国際連携プログラムの他の構成大学の学生のみを対象とした科目であり、本研究科の学生は受講できない。

※「留学生日本語」は留学生プログラムの学生のみを対象とした選択科目である。

(3.3) 共通科目（日本語開講）

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期								
				1年次					2年次			
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV		
地域水産学特別指導	大富（コーディネータ）	選択	2	随時○								
水産業の課題と未来	横山（オムニバス・コーディネータ）	選択	2	○								
島嶼水産学	前年度教育委員長（コーディネータ）	選択	2	○								
水産学特別セミナー	教育委員長	選択	2	随時○								
ビジネスツール特別実習	非常勤・進藤	選択	2	○								
実用英語 S	非常勤	選択	2		○							
インターンシップ	インターンシップ・就職委員長	選択	2	随時○								
小計			14									

4. 履修規則

(趣旨)

第1条 この規則は、鹿児島大学大学院学則（平成16年規則第87号。以下「大学院学則」という。）、鹿児島大学水産学部組織規則（平成16年水規則第1号。以下「組織規則」という。）及び鹿児島大学大学院水産学研究科規則（平成16年水研規則第12号。以下「研究科規則」という。）の規定に基づき、鹿児島大学大学院水産学研究科（以下「本研究科」という。）における履修について必要な事項を定めるものとする。

(教育目的)

第2条 本研究科は、鹿児島から東南アジア・南太平洋を含む水圏をフィールドとして、水産資源の持続的生産とその合理的利用及び水圏環境の保全・管理の分野で国際的水準の知識と能力を修得し、熱帯・亜熱帯水域を対象とする諸活動で世界をリードする文化の創出に参画し、地域社会と国際社会に貢献できる高度な水産技術者を育成し、社会に送り出すことを目指すものとする。

(教育分野)

第3条 本研究科の学生は、次の教育分野のいずれかに所属する。

- (1) 水圏科学分野
- (2) 水産資源科学分野
- (3) 食品生命科学分野
- (4) 水産経済学分野
- (5) 水圏環境保全学分野

(コース)

第4条 本研究科に熱帯水産学国際連携コースを置く。

- 2 本研究科の学生は、前条に規定する所属分野にかかわらず、熱帯水産学国際連携コースに登録することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、別に細則に定める。

(プログラム)

第5条 本研究科に留学生プログラムを置く。

- 2 本研究科の外国人留学生は、第3条に規定する所属分野にかかわらず、留学生プログラムに登録することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、履修の手引に定める。

(指導教員及び授業担当教員)

第6条 本研究科に指導教員及び授業担当教員を置く。

- 2 指導教員のうち、学生の研究指導を総括的に担当する者を主指導教員、主指導教員とともに研究指導を担当する者を副指導教員とし、鹿児島大学学術研究院水産学系（以下「学系」という。）の教授、准教授、講師又は助教のうち資格を認定された者が務める。なお、学生1人について主指導教員は1人、副指導教員は2人とする。
- 3 授業担当教員は、学系の教授、准教授、講師又は助教が務める。

(学期)

第7条 研究科規則第11条に定めるクォーター制は、以下のとおり運用する。

- (1) I a及びⅢaクォーター：前期の最初の8週間
- (2) I b及びⅢbクォーター：I a及びⅢaクォーターに続く8週間
- (3) II a及びIVaクォーター：後期の最初の8週間
- (4) II b及びIVbクォーター：II a及びIVaクォーターに続く8週間

2 サマーセッションの期間は、8月18日を含む週の翌週の月曜日から4週間とする。

(教育課程の編成方針)

第8条 第2条の教育目的を達成するための教育課程の編成方針は、以下のとおりとする。

- (1) 鹿児島大学の特色・強みを生かした修士学位に相応しい専門的知識を体系的に修得する科目を開講する。
 - ア 熱帯水産学国際連携コース：海外の大学との国際連携により、熱帯水産学に関する質の高い科目を提供する。
- (2) 基礎学力と自ら学べる力を涵養する科目を開講する。
 - ア 水産学の最新の基盤的知識を幅広く修得する科目を開講する。
 - (ア) 留学生プログラム：水産学全般を理解する科目群を英語で開講する。
 - イ 高度な水産技術者に必要な英語の運用能力を修得する科目を開講する。
 - (イ) 熱帯水産学国際連携コース：学部レベルの水産学全般の知識や経験を英語で読み、聞き、表現できる能力を養う科目を開講する。
 - (3) 調査研究の総合的活用プロセスを修得する科目を開講する。
 - ア 調査・研究プロセス修得の前提となる体験と知識が得られる科目を開講する。
 - (ア) 熱帯水産学国際連携コース：熱帯・亜熱帯の水産業に関する理解を得、国際社会での協働の体験を積める科目を開講する。
 - (イ) 留学生プログラム：専門領域に関連する論文を総合し、研究の手法やプロセスを理解する科目を開講する。
 - イ 実験・調査計画を策定する高い能力を修得する科目を開講する。
 - ウ 高度な調査・研究機器の利用法や調査手法を修得する科目を開講する。
 - エ 情報収集と資料整理・分析の能力を開発する科目を開講する。
 - (4) 論文作成の総合的能力を修得する科目を開講する。
 - (5) 現場対応力・職業能力を強化する科目を開講する。(留学生プログラムを除く学生対象)

2 授業科目及び研究指導を体系的に計画するとともに、これらを公開する。

(教育方法)

第9条 本研究科の教育は、授業科目の授業及び研究指導によって行う。

- 2 本研究科の教育課程は、各授業科目を必修科目、選択必修科目（選択を指定するものを含む。）、選択科目及び自由科目に区分して編成する。
- 3 本研究科の授業科目は、次に掲げるとおりに区分する。
 - (1) 研究指導科目
 - (2) 専門教育科目
 - (3) 研究科共通科目
- 4 前項第1号に規定する研究指導科目は、修了要件単位数に係る授業科目に算入しない。
- 5 英語を用いて授業を行う科目を英語開講科目、英語及び日本語を用いて授業を行う科目を日英両語開講科目、日本語を用いて授業を行う科目を日本語開講科目という。
- 6 本研究科が開講する授業科目及び単位は、履修の手引に定める。

(単位の計算方法)

第10条 単位の計算方法については、鹿児島大学水産学部履修規則第9条の規定を準用する。
2 開講科目の単位は、履修の手引に定める。

(修了に必要な単位数)

第11条 本研究科において修得すべき単位数は、第9条第1項から第4項及び第6項の規定に従い、修了要件に算入する科目の履修により修得した30単位以上及び研究指導科目の履修により修得した6単位とする。

(履修科目の届出)

第12条 学生は、本研究科の指定する期間内に、受講届により履修する授業科目を登録しなければならない。

2 履修登録の変更は、定められた履修登録変更期間を除き、原則として認めない。ただし、海外で開講される科目を除き、次の各号の一に該当する場合は履修登録を取り消すことができる。

(1) 病気・けが等による長期欠席のため、医師の診断書を添付して履修登録取消願により申請した場合

(2) 履修登録確定後3週間以内に、履修登録取消願により申請した場合

3 前項の規定にかかわらず、サマーセッションに開講する科目、集中講義科目及び乗船実習科目については、履修の手引に、熱帯水産学国際連携プログラム構成校が提供する科目については、別に定める細則によるものとする。

4 履修又は再履修の登録をしていない授業科目については、受講はできない。

5 乗船実習科目については、時間割上同じ時間帯にある授業科目と重複して履修することができる。

(指導教員等の届出)

第13条 学生は、本研究科の指定する期間内に、第6条に規定する主指導教員及び副指導教員を、研究指導を受ける課題とともに届け出なければならない。

(履修科目の登録の上限)

第14条 学生が、修了要件に参入される単位数及びその他の必修科目の単位数として、各学期に登録できる授業科目の合計単位数は、16単位を限度とする。

2 前項の上限単位には、サマーセッションに開講する科目、集中開講科目及び随時開講科目の単位数は含まないものとする。

(教育方法の特例)

第15条 研究科教授会の意見を聴いて、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行うことができる。

2 前項に関し必要な事項は、別に定めることができる。

(他の研究科の授業科目の履修)

第16条 学生は、他の研究科の授業科目を、当該授業を開講する研究科等の定めるところにより履修することができる。

2 前項により履修する場合は、あらかじめ研究科長を経て、当該研究科長等の許可を受けるものとする。

3 前2項により修得した授業科目は、自由科目とする。ただし、あらかじめ指導教員が必要と認めて履修した場合は、選択科目とみなすことができる。

(他大学の大学院における授業科目の履修等の取扱い)

第17条 大学院学則第21条の規定により、学生は、他の大学の大学院(外国の大学院を含む。)の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により学生が行う他の大学の大学院における学修は、あらかじめ指導教員が必要と認めて履修した場合は、本研究科における選択科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項にかかわらず、熱帯水産学国際連携コースに登録した学生が、熱帯水産学国際連携プログラム構成大学が提供する授業科目を履修する場合は、別に定める細則によるものとする。

(成績評価基準の明示)

第18条 本研究科は、学修の成果及び学位論文に係る評価並びに修了の認定について、客観性及び厳格性を確保するため、それらの基準を定め、学生に対してあらかじめ明示する。

(入学前の既修得単位等の取扱い)

第19条 学生が本研究科に入学する前に他の大学の大学院(外国の大学院を含む。)において履修した授業科目について修得した単位は、本研究科における研究科共通科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により修得したものとみなすことのできる単位数は、転入学の場合を除き、本研究科において修得した単位以外のものについては、第16条第3項及び第17条第2項の規定により修得した単位数と合わせて10単位を超えないものとする。

3 学生が本研究科に入学する前に本研究科の授業科目について修得した単位は、本研究科において第9条第2項及び第3項に定める区分に従って修得したものとみなすことができる。

4 前項の規定により修得したものとみなすことのできる単位数は、15単位を超えないものとする。

5 単位の認定方法等については、別に規則に定める。

(長期にわたる教育課程の履修)

第20条 学生が職業を有している等の事情により、大学院学則第14条に定める標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる。

2 前項に関し必要な事項は、別に定めることができる。

(全学横断的教育プログラム)

第21条 大学院学則第24条の4に規定する、全学横断的教育プログラムにより開講された科目の履修により修得した単位は、5単位を上限として修了要件単位数に算入することができる。

(教育職員免許)

第22条 教育職員免許状を受ける資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める所要の単位を修得しなければならない。

2 前項の資格を取得した者が受けることのできる教育職員免許状の種類及び免許教科は、次の表のとおりである。

研究科	専攻	免許状の種類	免許教科
水産学研究科	水産学専攻	高等学校教諭 専修免許状	水産

(授業科目の試験)

第23条 授業科目の試験は、学期又はクォーターの終わりに行う。ただし、必要があるときは臨時に行うことがある。

(受験資格)

第24条 学生は、受講届を提出した授業科目について、実際の授業時数の3分の2以上出席した場合に限り、試験を受けることができる。

(試験の方法)

第25条 授業科目の試験は、当該授業を担当した教員が筆記試験、口述試験又は研究報告によって行い、その評点は当該教員が決定する。

2 前項の教員に事故があるときは、研究科教授会の意見を聴いて研究科長が定めた他の教員が行う。

(成績の評価)

第26条 授業科目の成績は、100点満点で60点以上を合格とし、60点未満を不合格とする。

2 前項の成績を発表する必要がある場合は、優（80点以上）、良（70点以上80点未満）、可（60点以上70点未満）、不可（60点未満）の評語をもって行う。

(単位の付与)

第27条 前4条の試験に合格した者には、所定の単位を付与する。

(追試験及び再試験)

第28条 追試験は原則として行わない。ただし、学生が病気、忌引又は公の証明のある事故等のやむを得ない事由により受験できなかった場合又は教育上必要と判断される場合は、願い出により、追試験を行うことがある。

2 不合格となった授業科目について、再試験は原則として行わない。ただし、学生が再試験を願い出たとき、教育上必要と判断された場合は、再試験を行うことがある。

3 前項の規定により再試験を行う場合の評価は、可（60点）又は不可とする。

(不正行為の措置)

第29条 試験の際、不正行為の事実が確認された場合、原則として、当該学期の全履修科目を不合格（0点）とする等の措置をとる。

2 前項の不正行為を行った者については、大学院学則第46条の規定により懲戒することができる。

3 第1項の不正行為に対する処置で不合格となった履修科目は、再試験を受けることができない。

(開示請求及び異議申立て)

第30条 本研究科の学生は、成績等の開示請求及び成績等に関する異議申立てを行うことができる。

2 前項に関し必要な事項は、別に要項に定める。

(修士論文の提出)

第31条 学生は、必要な研究指導を受けた上で、本研究科の目的に応じた修士論文を作成し、指定した期日までに提出しなければならない。

(最終試験)

第32条 最終試験は、第11条に規定する本研究科を修了するに必要な単位を取得し又は取得見込みであって、かつ、前条に規定する修士論文を提出した者について行う。

2 最終試験は、審査した学位論文及びこれに関連する科目について、口述試験によって行う。

(審査)

第33条 研究科長は、審査委員会を設け、修士論文の審査及び最終試験を行わせる。

2 修士論文の審査基準は、論文が適切な研究課題を設定し、適切な研究計画を策定し、課題に適した機器等を利用し、資料を適切に整理・分析し、論理的な検討から結論を導き、学術雑誌に投稿可能な論文に取りまとめているものであることとする。

3 修士論文及び最終試験の合格又は不合格は、審査委員会及び研究科教授会の意見を聴いて研究科長が決定する。

4 修士論文の審査及び最終試験に合格しなかった者に対し、研究科教授会の意見を聴いて研究科長が特に必要と認めた場合には、あらためて論文審査及び最終試験を行うことができる。

5 前項の審査及び試験には、前2条及び本条第1項から第3項までの規定を準用する。

(修了の認定)

第34条 本研究科学生で、次に掲げるすべての条件を満たした者は、研究科教授会の意見を聴いて修了者と認定する。

(1) 本研究科に通算2年以上在学した者

(2) 第11条に規定した授業科目及び単位数を修得した者

(3) 前条に規定する学位論文及び最終試験に合格した者

2 前項第1号にかかわらず、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

(学位)

第35条 修了者には、修士(水産学)の学位を授与する。

(入学時期)

第35条の2 入学の時期は、学年又は学期の始めとする。

2 ただし、外国人留学生の入学については、後期学期の始めとすることができる。

(入学者選抜等)

第35条の3 入学者選抜試験は、入学する年度の前年度の8月に一次試験を行い、1月に二

次試験を行う。

- 2 前条第2項による入学者の場合の選抜試験は、入学する年度の前年度の1月に一次試験を行い、入学する年度の8月に二次試験を行う。
- 3 選抜の方法及び入学手続等については、別に募集要項に定める。

(転研究科及び転入学)

第36条 本研究科の学生で、他の研究科に転研究科を志願する者があるときは、研究科教授会で選考の上、受入研究科の研究科教授会の意見を聴いて許可することがある。

- 2 他研究科の学生で、本研究科に転研究科を志願する者があるときは、欠員がある場合に限り、研究科教授会で選考の上、研究科教授会の意見を聴いて相当年次へ転研究科を許可することがある。
- 3 他の大学の大学院の学生で、本研究科に転入学を志願する者があるときは、欠員がある場合に限り、研究科教授会で選考の上、研究科教授会の意見を聴いて相当年次へ転入学を許可することがある。

(再入学)

第37条 大学院学則第31条第1項第1号の規定により、本研究科を退学後に本研究科に再入学を志願する者があるときは、研究科教授会の意見を聴いて入学を許可することがある。

- 2 前項の規定により再入学を許可された学生は、退学前に所属した教育分野等に所属するものとし、入学の時期は原則として学年の始めとする。
- 3 在学期間は、再入学後と退学前の在学期間を通算し、修得すべき単位数は、再入学後と退学前の修得単位数を通算する。
- 4 前項の在学期間は、標準修業期間の2倍を超えることはできない。
- 5 再入学を志願する者は、再入学の時点で退学後2年を超えていないこととする。
- 6 本研究科を除籍された者には、前5項の規定を準用する。ただし、入学料を納入しなかったために除籍された者については、再入学を認めない。

(雑則)

第38条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、別に定めることができる。

附 則

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日の前日において、本研究科に在学する者については、なお従前の例による。

5. 熱帯水産学国際連携コース

本コースは、本研究科の学生が、アジアの複数の大学により開設した熱帯水産学国際連携プログラム（以下、国際連携プログラムという）の下で学修するために設けたものである。国際連携プログラムは、これを構成する研究科がそれぞれ特徴のある科目を提供し、それらを共有することで、構成研究科の学生に質の高い教育を提供し、グローバル化が進む水産業や社会に貢献できる知識・技術と意思を持った人材を育成するために設けた、国際的な枠組みである。構成研究科は、本研究科と、サムラトランギ大学水産海洋科学研究科（インドネシア）、マレーシア・トレンガヌ大学水産・養殖科学研究科、フィリピン大学ビサヤス校水産・海洋科学研究科、カセサート大学水産学研究科（タイ）、ニャチャン大学研究科（ベトナム）である。

本研究科の熱帯水産学国際連携コースに登録した学生は、上記のプログラムの下で、受講料等の経済的負担を負うことなく、構成研究科によって提供される科目を自由に履修し、構成研究科の学生と同等で同質の教育を受け、単位を取得することができる。定められたコース修了要件を満たして本研究科を修了した場合、修士学位に加えて、熱帯水産学国際連携プログラム修了証書が授与される。

本コースの学修は、プログラム共通規則に加えて、本研究科履修規則及びそれに基づいて定められた熱帯水産学国際連携コース履修細則に則って行われるが、海外での学修に関しては、国による高等教育制度の差異のために、授業や指導の方法が異なる場合がある。各構成校での学修や生活に関する情報は、別途用意された‘Guidance to Students to Study at the Member Schools under the Postgraduate (Master) Programme on Tropical Fisheries with International Linkage (ILP)’に説明されているので、構成校が提供する科目の履修については、ガイダンスを熟読の上、指導教員の指導を十分に受けて決定することが望ましい。

5.1 コース履修上の注意

コース登録の届け出

本コースでの学修を希望する学生は、コースに登録しなければならない。希望者は、主指導教員の指導を受けて、入学手続き時にコース登録希望届けを提出しなければならない。コースの定員は10名とする。希望者が定員を上回った場合は、入学者選抜試験の成績上位者から登録を受け付ける。なお、登録に漏れた学生は、本人が希望する場合、補欠者として希望届けを留保することができる。

コースの修了要件

コースに登録した学生は、研究科履修規則に従うほか、熱帯水産学国際連携コース履修細則に従って学修する必要がある。すなわち、本研究科開講科目の中の「5.2 熱帯水産学国際連携コース学生向け推奨科目群」に示す科目又は「5.5 構成大学提供科目表」に示すプログラム構成研究科から提供された科目を履修することで12単位以上を修得する必要がある。このうち、少なくとも6単位は「5.5 構成大学提供科目表」に示す構成研究科から提供された科目を履修することで修得しなければならない。

構成大学が提供する科目の履修登録

構成大学が提供する科目を履修する場合は、本研究科開講科目と同様に、履修する学期の定められた期間に履修登録を行わなければならない。ただし、渡航手続き等のために、上記より早く履修希望を聞く場合がある。

構成大学が提供する科目の履修登録は、取り下げることにはできない。各構成研究科の学期制度が異なることから、構成研究科が提供する科目を履修できる時期は限られているので、別途配布するガイダンスを参照しつつ、指導教員及び本コース担当教員の指導を受けて、履修計画を立てる必要がある。

研究指導

本コースの学生は、主旨導教員の指導に従い、「5. 4 構成大学教員名簿」に示す構成研究科教員のうちの一人を副指導教員とし、研究指導を受けることができる。

海外での学修への支援

本コースに登録した学生は、構成研究科から提供され海外で開講される科目を、別に定める履修登録期間に履修登録を行ない履修するとき、渡航費（別に定める航空運賃及び宿泊費）の半額を上限として、経済的な支援を受けることができる。ただし、入学者選抜試験又は入学後の成績が不十分な場合又は定められた履修登録期間以外に履修登録を行った場合、上記の支援の一部又は全部を受けられないことがある。

本プログラム構成校で約1ヶ月の学修を行う場合、渡航費は概ね下表の程度である（食費の支援は行わないが、日本での生活より安価であると考えられる）。渡航手続き開始時には、航空運賃及び宿泊費を払い込む必要があるため、コース登録希望者はこれに十分に留意し用意しておく必要がある。なお、表の金額はあくまでも目安であり、確定したものではない。

構成研究科	航空運賃 (往復)	宿泊費 (1ヶ月)	食費 (学食での1食あたり)
サムラトランギ大学 水産海洋科学研究科	約 130,000 円	150～300 米ドル	1.0～1.5 米ドル
トレンガヌ大学 水産・養殖科学研究科	約 150,000 円	500～1,000 リンギット	6 リンギット
フィリピン大学ビサヤス校 水産・海洋科学研究科	80,000～100,000 円	8～150 米ドル	1～2 米ドル
カセサート大学 水産学研究所	80,000～100,000 円	4,000～6,000 バーツ	50 バーツ
ニャチャン大学研究科	80,000～100,000 円	65～100 米ドル	1.5～2.0 米ドル

コース登録の取り下げ、取り消しと追加登録

本コースに登録した学生が、本コースに則った履修を放棄したい場合は、登録を取り下げなければならない。また、本コースを修了するのに必要な科目を履修していないと認められた場合や構成校が開講する科目の履修を放棄した場合等は、登録を取り消される場合がある。

コース登録を取り下げたり取り消された場合でも、本研究科の修了要件を満たせば、その修了には影響しない。それらの場合、他の構成研究科提供科目の履修により修得した単位は、研究科履修規則に定める他大学の大学院における授業科目の履修による単位として扱われる。

コース定員に不足が生じた場合、希望に従い、補欠者の上位者からコースへの追加登録者とする。

コースと留学生プログラムの重複登録の禁止

本コースと留学生プログラムの両方に登録することはできない。

5.2 熱帯水産学国際連携コース学生向け推奨科目群

(1) 構成研究科のプログラム学生を対象とした科目（英語開講）

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期						
				1年次					2年次	
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV
Aquatic Sciences	鈴木・重廣・中村・小針	所属分野の 1科目は必 修 その他は選 択	2			▲				
Fisheries Resource Sciences	西（昭）・増田・山中・庄野		2			▲				
Aquaculture	越塩・山本淳・小谷・石川		2			▲				
Fisheries Food Sciences	木村・上西・進藤・板倉		2	▲						
Fisheries Economics	佐野・佐久間・鳥居		2	▲						
Conservation of Aquatic Environment	前田・小山・吉川・宇野		2	▲						
Fisheries and Fisheries Sciences	ミゲル	選択	2		○					
Management of Tropical Fisheries	江幡・松岡（非常勤）	選択	2			○				
Tropical Fisheries (Intensive)※	石崎	選択	2		集中○					
小計			18							

※「Tropical Fisheries (Intensive)」は熱帯水産学国際連携コースに登録した学生のみを対象とした科目である。

(2) 構成研究科のプログラム学生を対象とした科目（日英両語開講）

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期							
				1年次					2年次		
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV	
高度分析・調査実習 CHE	石川・宇野・杉山	1科目選択 必修 その他は選 択	1			▲					
高度分析・調査実習 BCH	小松・荒木・塩崎		1			▲					
高度分析・調査実習 BBI	小谷・吉川		1			▲					
高度分析・調査実習 SSC	鳥居・佐久間・佐々木		1	集中▲							
大学院洋上観測乗船実習	内山・中村・小針・仁科		1	集中▲							
大学院資源・計測乗船実習	内山・西・山中・安樂		1	集中▲							
高度分析・調査実習（オープン）※	受入教員		1	随時△							
洋上特別実験	幅野・指導教員	選択	1	集中○							
小計			8								

※「高度分析・調査実習（オープン）」は、熱帯水産学国際連携プログラムの他の構成大学の学生のみを対象とした科目であり、本研究科の学生は受講できない。

5.3 水産学研究科国際連携コース履修細則

(趣旨)

第1条 この細則は、鹿児島大学大学院水産学研究科履修規則（平成27年水研規則第1号。以下「研究科履修規則」という。）及び研究科（修士課程）熱帯水産学国際連携プログラム共通規則（平成25年研究科（修士課程）熱帯水産学国際連携プログラム協定。以下「共通規則」という。）の規定に基づき、鹿児島大学大学院水産学研究科熱帯水産学国際連携コース（以下「本コース」という。）における履修について必要な事項を定めるものとする。

(教育目的)

第2条 本コースは、鹿児島大学大学院水産学研究科（以下「本研究科」という。）の教育目的に加えて、熱帯・亜熱帯水産業に関する学術の理論及び応用に関する知識及び技術を修得し、グローバル化社会で活躍できる能力を持った人材を育成することを目指すものとする。

(熱帯水産学国際連携プログラム及びコース)

第3条 研究科（修士課程）熱帯水産学国際連携プログラム（以下「国際連携プログラム」という。）は、第2条の教育目的を達成するために、インドネシア国サムラトランギ大学水産・海洋科学研究科、本研究科、マレーシア国マレーシア・トレンガヌ大学養殖・水産学研究科、フィリピン国フィリピン大学ピサヤス校水産・海洋科学研究科及びタイ国カセサート大学水産学研究科、ベトナム国ニャチャン大学研究科（以下「構成研究科」という。）が連携して開設した教育プログラムである。

2 本コースは、本研究科が国際連携プログラムの一部として開設する教育課程である。

(コースの定員)

第4条 本コースの定員は10名とする。

(コースへの登録)

第5条 本コースに従って学修することを希望する学生は、本研究科への入学に際し、本研究科の指定する期間内に、その旨を申し出、登録申請しなければならない。

2 前項に規定する申請者が前条に規定する定員を超える場合は、入学者選抜試験の成績により、登録の可否を決定する。

3 前2項の規定にかかわらず、前条に定める定員が満たされていない場合は、適切な時期に追加登録を行うことがある。

4 本コースと研究科履修規則第5条に規定する留学生プログラムの両方に登録することはできない。

(コース教員)

第6条 本コースの教育には、履修の手引に定める国際連携プログラム構成研究科から推薦され国際連携プログラム運営協議会（以下「運営協議会」という。）で資格を認定された教員（以下「プログラム教員」という。）があたる。

2 主指導教員には、本研究科教員で主指導教員の資格を認定された者のうちプログラム教員である者をもって充てる。

- 3 副指導教員のうちの1名には、本研究科以外の構成研究科（以下「他構成研究科」という。）のプログラム教員でかつ副指導教員以上の資格を認定された者を充てることができる。

（教育課程の編成方針及び授業科目）

第7条 本研究科の教育課程の編成方針に加えて、第2条に規定する教育目的に従い、構成研究科の特色及び強みを生かして、学生が、熱帯・亜熱帯の水産業に関する知識と技術を習得し、他国の産業、社会及び文化をそれらに接した経験を持って理解し、グローバル化しつつある社会で活躍できる能力を獲得できるように、教育課程を編成する。

（教育方法）

第8条 本コースの教育は、本研究科が開講する授業科目及び研究指導のほか、前条の方針に従い各構成研究科が提供する授業科目（以下「プログラム科目」という。）の授業及びプログラム教員による研究指導によって行う。

- 2 プログラム科目の授業は、英語又は日英両語で行う。
- 3 プログラム科目のうち、他構成研究科が提供する科目は、すべて研究科履修規則第9条第3項第3号に規定する研究科共通科目の選択科目とする。
- 4 プログラム科目及び単位は、履修の手引に定める。
- 5 前項の規定にかかわらず、他構成研究科が開講する科目は、変更される場合がある。

（単位の計算方法）

第9条 単位の計算法については、共通規則第39条の規定に従い各構成研究科が定めた方法による。

（他構成研究科提供科目の履修の届出）

第10条 本コースの学生は、他構成研究科が提供する授業科目を履修することができる。

- 2 前項の場合は、あらかじめ研究科長を経て、当該授業科目を提供する研究科の許可を受けるものとする。
- 3 前項の規定に基づいて行った履修登録の変更は、原則として認めない。ただし、当該授業科目を提供する研究科のアドバイスに基づいて変更を申し出た場合は、その変更を認める場合がある。

（授業科目の試験）

第11条 授業科目の試験は、共通規則第35条の規定に従い各授業科目を提供した構成研究科が定めるところにより行う。

（受験資格）

第12条 授業科目の試験の受験資格は、各授業科目を提供した構成研究科が共通規則に従い定めるところによる。

（成績の評価）

第13条 他構成研究科が提供した授業科目の試験の評点は、当該構成研究科が以下の方法に従いプログラム共通評点に換算し、それを本研究科の評点とする。

- (1) 各構成研究科による内部評点（以下、「内部評点」という）Sintは、各構成研究科が属する大学の規則等に基づいて、満点を100点として与える。

(2) 内部評点 S_{int} は、次式により共通評点 S_{com} に変換する。

$$S_{com} = \frac{S_{int} - S_{ip}}{100 - S_{ip}} \times 40 + 60$$

ここで、 S_{ip} はある科目の内部評点での合格最低点で、上式の定数60は共通評点の合格最低点である。

(追試験及び再試験)

第14条 他構成研究科が提供する授業科目については、追試験及び再試験は行わない。

(開示請求及び異議申立て)

第15条 他構成研究科が提供する授業科目の履修については、研究科履修規則第30条に規定する開示請求及び異議申立ての対象としない。

(コース修了の認定)

第16条 本コースの学生で、次に掲げるすべての条件を満たした者は、本研究科教授会の意見を聴いて、運営協議会が国際連携プログラム修了者として認定する。

- (1) 本研究科の修了者と認定された者
- (2) プログラム科目の履修により、12単位以上を修得した者
- (3) 前号で定めた単位数のうち、6単位以上を他構成研究科が提供した授業科目の履修により修得した者

(修了証)

第17条 本コースの修了者には、修士（水産学）の学位に加えて、運営協議会が国際連携プログラムの修了証を授与する。

(コース登録の取下げ及び取消し)

第18条 本コースに登録した学生が、コース登録を取り下げを希望する場合は、すみやかに研究科長に届け出なければならない。

2 本コースに登録した学生が、第16条第2号及び第3号の要件を満たすために必要なプログラム科目を履修していないと認められた場合、コースの登録が取り消されることがある。

(雑則)

第19条 この細則に定めるもののほかは、研究科履修規則及び共通規則の規定に従う。

附 則

この細則は、平成27年4月1日から施行する。

5. 4 構成大学教員名簿

School of Fisheries and Marine Science, Sam Ratulangi University, Indonesia

Position	Name (Family, First, Middle)	Research Field	Supervisor rank
Professor	BERHIMPON Siegfried	Food processing technology	Main Supervisor
Professor	GERUNG Grevo S.	Marine botany	Main Supervisor
Professor	KALIGIS Georis Judri Fontje	Marine biology	Main Supervisor
Professor	KEPEL Rene Charles	Marine botany	Main Supervisor
Professor	KUSEN Janny D.	Marine biology	Main Supervisor
Professor	LASUT Markus Talintukan	Coastal management	Main Supervisor
Professor	MASENGI Kawilarang Warouw Alex	Vessel technology	Main Supervisor
Professor	MINGKID Winda Mercedes	Aquaculture	Main Supervisor
Professor	SUWETJA Ketut I.	Food processing technology	Main Supervisor
Professor	ROMPAS Rizald Max	Toxicology and pharmaceutical	Main Supervisor
Professor	MANGINDAAN Remy E.P.	Marine natural product	Main Supervisor
Professor	MANTJORO Eddy	Fisheries business	Main Supervisor
Professor	MANTIRI Desy M.H.	Toxicology and pharmaceutical	Main Supervisor
Professor	RUMENGAN Inneke F.M.	Biotechnology	Main Supervisor
Professor	SITANGGANG Effendi Pangihutan	Geomorphology	Main Supervisor
Lecturer	BUDIMAN Johnny	Fishing technology	Co-Supervisor
Lecturer	IJONG Gruber Frans	Fish processing technology	Co-Supervisor
Lecturer	LUMENTA Cysca	Fish nutrition	Co-Supervisor
Lecturer	LUMINGAS Lawrence J.L.	Marine biology	Co-Supervisor
Lecturer	MAKAPEDUA Daisy Monica	Biotechnology	Co-Supervisor
Lecturer	MAMANGKEY N. Gustaf. F.	Malacology	Co-Supervisor
Lecturer	OMPI Medy	Marine reptiles	Co-Supervisor
Lecturer	ONIBALA Hens	Food processing technology	Co-Supervisor
Lecturer	REPPI Emil	Fishing technology	Co-Supervisor
Lecturer	SUMILAT Deiske Adeliene	Toxicology and pharmaceutical	Co-Supervisor

School of Fisheries and Marine Science, Sam Ratulangi University, Indonesia (前ページからの続き)

Position	Name (Family, First, Middle)	Research Field	Supervisor rank
Lecturer	TUMBOL Reiny Antonetha	Biotechnology	Co-Supervisor
Lecturer	WAGEY Billy Theodorus	Marine botany	Co-Supervisor
Lecturer	WULUR Stenly	Biotechnology	Co-Supervisor
Assistant professor	MONTOLALU Roike Iwan	Food processing technology	Co-Supervisor
Assistant professor	ROEROE Kakaskasen Andreas	Coralogy	Co-Supervisor
Assistant professor	UNDAP Suzanne Lydia	Fish toxicity	Co-Supervisor

School of Fisheries and Aquaculture Sciences, Malaysia University of Terengganu

Position	Name (Family, First, Middle)	Research Field	Supervisor rank
Emeritus Professor	AMBAK, Mohd Azmi	Fish management, fish population dynamics	Main Supervisor
Emeritus Professor	MOHD SHAROU, Faizah	Fish parasitology and disease, aquaculture	Main Supervisor
Professor	ABD GHAFAR, Mazlan	Fishery sciences, ichthyology	Main Supervisor
Professor	ABD WAHID, Mohd Effendy	Aquatic animal health, biotechnology	Main Supervisor
Professor	HASSAN, Anuar	Fish breeding technology, aquaculture	Main Supervisor
Professor	AMBOK BOLONG, Abol Munafi	Hatchery technology, fish breeding	Main Supervisor
Professor	MUSA, Najiah	Aquatic animal health, parasitology	Main Supervisor
Lecturer	HII, Yii Siang	Water quality management, chemical oceanography	Main Supervisor
Lecturer	ARIFFIN, Nur Asma	Fish genomics, biotechnology	Main Supervisor
Lecturer	MD. SHERIFF, Shahreza	Fish genetics, biotechnology	Main Supervisor
Lecturer	MUSA, Nadirah	Fish physiology, fish endocrinology	Main Supervisor
Lecturer	ABDULLAH, Muhd Danish Daniel	Microbiology and molecular biology	Main Supervisor
Lecturer	WAN HUSSIN, Wan Mohd Rauhan	Aquatic ecology, benthic ecology	Co-supervisor
Lecturer	MOK, Wen Jye	Aquatic food safety	Co-supervisor
Lecturer	MAT PIAH, Rumeaida	Fish population dynamic, fish ecology	Co-supervisor
Lecturer	SEAH, Ying Giat	Fish taxonomy, fish ecology	Co-supervisor
Lecturer	KARIM, Nurul Ulfah	Fisheries post-harvest, fish processing	Co-supervisor
Lecturer	ZAINATHAN, Sandra Catherine	Aquatic virology, fish health	Co-supervisor

School of Fisheries and Aquaculture Sciences, Malaysia University of Terengganu (前ページからの続き)

Position	Name (Family, First, Middle)	Research Field	Supervisor rank
Lecturer	MAT NOORDIN, Noordiyana	Aquaculture nutrition, fish breeding	Co-supervisor
Lecturer	SYED JAMIL FADAAK, Sharifah Noor Emilia	Aquatic microbial ecology	Co-supervisor
Lecturer	TAN, Min Pau	Molecular ecology, fish biotechnology	Co-supervisor
Lecturer	MOHTAR, Nor Fazliyana	Fish biochemistry and processing	Co-supervisor
Lecturer	HARUN, Nor Omaima	Zoology (immunology)	Co-supervisor
Lecturer	SYED MUHAMMAD, Sharifah Rahmah	Nutrition and seed production	Co-supervisor
Lecturer	Ivan KOH, Chong Chu	Aquaculture and seed production	Co-supervisor
Lecturer	MAT JAAFAR, Tun Nurul Aimi	Population genetic, molecular biology	Co-supervisor
Lecturer	KHATOON, Helena	Microalgae biotechnology, aquaculture	Co-supervisor
Lecturer	KADER, Md Abdul	Aquatic animal nutrition	Co-supervisor
Lecturer	ASADUZZAMAN, Md	Aquaculture systems and biotechnology	Co-supervisor
Lecturer	IEHATA, Shumpei	Aquaculture and marine microbiology	Co-supervisor
Lecturer	ARIPIN, Siti Ariza	Aquaculture, fish reproductive physiology	Co-supervisor

College of Fisheries and Ocean Sciences, University of the Philippines Visayas

Position	Name (Family, First, Middle)	Research Field	Supervisor rank
Professor	BABARAN, Ricardo P.	Fishing gear technology, fisheries resource management	Main supervisor
Professor	BAYLON, Carlos C.	Soil and water quality, bivalve culture	Main supervisor
Professor	PERALTA, Jose P.	Food engineering, fish handling and processing	Main supervisor
Professor	SACLAUSO, Crispino A.	Aquaculture, fish ecology	Main supervisor
Professor	SERRANO, Augusto E. Jr	Fisheries nutritional biochemistry/physiology	Main supervisor
Associate Professor	AÑASCO, Nathaniel C.	Marine environmental chemistry	Main supervisor
Associate Professor	CATEDRILLA, Liah C.	Fisheries extension and development communication	Main supervisor
Associate Professor	NILLOS, Mae Grace G.	Environmental chemistry, aquatic toxicology	Main supervisor
Associate Professor	QUINITIO, Gerald F.	Reproductive biology, larval physiology	Main supervisor
Associate Professor	TRAI FALGAR, Rex Ferdinand M.	Nutritional immunology	Main supervisor
Assistant Professor	DE LEON, Sheila Mae S.	Benthic environments, sediment enzymology	Main supervisor

College of Fisheries and Ocean Sciences, University of the Philippines Visayas (前ページから続き)

Position	Name (Family, First, Middle)	Research Field	Supervisor rank
Assistant Professor	MONTECLARO, Harold M.	Fish sensory biology and behavior	Main supervisor
Assistant Professor	NUÑAL, Sharon N.	Microbiology ecology, bioremediation	Main supervisor
Assistant Professor	PEDROSO, Fiona L.	Fish endocrinology	Main supervisor

School of Fisheries, Kasetsart University, Thailand

Position	Name (Family, First, Middle)	Research Field	Supervisor rank
Professor	NA-NAKORN, Uthairat	Population genetics of aquatic animals	Main supervisor
Associate Professor	AREECHON, Nontawith	Diseases, immunology of aquatic animals	Main supervisor
Associate Professor	CHIRAPART, Anong	Phycology	Main supervisor
Associate Professor	DARBANANDANA, Thanitha	Fishery biology and management	Main supervisor
Associate Professor	JINTASATAPORN, Orapint	Aquatic animal nutrition	Main supervisor
Associate Professor	MEKSUMPUN, Charumas	Ecology of sediment, aquatic environment	Main supervisor
Associate Professor	MEKSUMPUN, Shettapong	Water quality, red tide mechanism	Main supervisor
Associate Professor	POOMPUANG, Supawadee	Aquatic animal genomics	Main supervisor
Associate Professor	TAPARHUDEE, Wara	Shrimp culture, aquaculture engineering	Main supervisor
Associate Professor	VEERAVAITAYA, Narong	Wetland ecology, natural assessment	Main supervisor
Associate Professor	WORAWATTANAMATEEKUL, Wanchai	Fish oil, marine polysaccharide, by-product technology	Main supervisor
Assistant Professor	ANONGPONYOSKUN, Monton	Physical oceanography	Main supervisor
Assistant Professor	BOONPRAB, Kangsadan	Fisheries microbiology, food safety	Main supervisor
Assistant Professor	BOUTSON, Anukorn	Marine environment, fishery oceanography	Main supervisor
Assistant Professor	CHUCHIRD, Niti	Molecular biotechnology, disease of aquatic animals	Main supervisor
Assistant Professor	KAEWNERN, Methee	Aquatic resources management, GIS and remote sensing	Main supervisor
Assistant Professor	KLAYPRADIT, Wanwimol	Fish processing, lipid chemistry	Main supervisor
Assistant Professor	MEUNPOL, Oraporn	Breeding & reproduction, hormones, physiology of aquatic fauna	Main supervisor
Assistant Professor	MUSIKASINTHORN, Prachya	Taxonomy, biogeography of freshwater fishes	Main supervisor
Assistant Professor	POUNGCHAREAN, Santi	Fish reproductive and early life histories, fish ecology	Main supervisor
Assistant Professor	RATANA ARPORN, Pattama	Food processing, food engineering, quality control	Main supervisor

School of Fisheries, Kasetsart University, Thailand (前ページから続き)

Position	Name (Family, First, Middle)	Research Field	Supervisor rank
Assistant Professor	RUNGLERDKRIANGKRAI, Jiraporn	Fish processing, protein chemistry	Main supervisor
Assistant Professor	SALAENOI, Jintana	Natural pigments, marine biotechnology	Main supervisor
Assistant Professor	SUKHSANGCHAN, Charuay	Fishing gear technology	Main supervisor
Assistant Professor	THAMRONG NAWASAWAT, Thon	Coral reef research and management	Main supervisor
Assistant Professor	TRISAK, Jiraporn	Fish population dynamics	Main supervisor
Assistant Professor	TUNKIJJANUKIJ, Suriyan	Marine biotechnology, marine bio-products	Main supervisor
Assistant Professor	WAIPRIB, Yaowapha	Waste utilization food, biotechnology food safety	Main supervisor
Assistant Professor	WILAI PUN, Pongtep	Food microbiology, biotechnology	Main supervisor
Assistant Professor	WORACHANANANT, Suchai	Coastal management	Main supervisor
Assistant Professor	YOONPUNDH, Ruangvit	Breeding and nursing, aquaculture system	Main supervisor
Lecturer	DULYAPURK, Varunthat	Environmental and natural resource economics	Main supervisor
Lecturer	HINSUI, Jirapa	Waste utilization seafood enzyme	Main supervisor
Lecturer	JITCHUM, Pailin	Planktonology	Main supervisor
Lecturer	MANEEROTE, Jirawan	Food engineering	Main supervisor
Lecturer	MONTHUM, Yaowaluk	Marine phytoplankton, marine meiobenthos	Main supervisor
Lecturer	MOOKDASANIT, Juta	Aquatic food flavor, fishery products analysis	Main supervisor
Lecturer	NETDHARNN, Urairathr	Fishery statistics and research methodology	Main supervisor
Lecturer	PANSAWAT, Nantipa	Fish processing fishery product development	Main supervisor
Lecturer	PRAIBOON, Jantana	Algal biotechnology, algal culture	Main supervisor
Lecturer	SATAPORNVANIT, Kriengkrai	Aquatic toxicology	Main supervisor
Lecturer	SRISAPOOME, Prapansak	Fish and shrimp diseases, molecular immunology	Main supervisor
Lecturer	WANGVORALAK, Sansanee	Coastal zone management	Main supervisor
Lecturer	WUDTISIN, Idsariya	Sediment quality management in aquaculture	Main supervisor

Faculty of Graduate Studies, Nha Trang University, Vietnam

Position	Name (Family, First, Middle)	Research Field	Supervisor rank
Assistant Professor	NGO, Nghia Dang	Marine bioactive compounds	Main supervisor

Faculty of Graduate Studies, Nha Trang University, Vietnam (前ページから続き)

Position	Name (Family, First, Middle)	Research Field	Supervisor rank
Assistant Professor	NGUYEN, Tuan Anh	Aquatic processing technology	Main supervisor
Lecturer	PHAM, Hung Quoc	Aquaculture	Main supervisor
Lecturer	LE, Hoang Minh	Reproductive physiology and endocrinology	Main supervisor
Lecturer	NGUYEN, Minh Van	Genetics and selective breeding	Main supervisor
Lecturer	LE, Tuan Anh	Fish nutrition and aqua-feeds	Main supervisor
Lecturer	NGUYEN, Anh Lam	Fisheries resources	Main supervisor
Lecturer	LUONG, Trung Luong	Aquaculture	Main supervisor
Lecturer	DINH, Khuong Van	Climate change and ecotoxicology	Main supervisor
Lecturer	MAI, Nga.T.Tuyet	Food technology	Main supervisor
Lecturer	HUYNH, Bao Nguyen Duy	Food technology	Main supervisor
Lecturer	NGUYEN, Anh Thuan	Food quality and safety	Main supervisor
Lecturer	NGUYEN, Huong.T.My	Aquatic product processing technology	Main supervisor
Lecturer	NGUYEN, Han The	Bioactive compounds from natural resources.	Main supervisor
Lecturer	DANG, Binh Thuy	Biotechnology	Main supervisor
Lecturer	NGUYEN, Duy Van	Applied microbiology	Main supervisor
Lecturer	NGUYEN, Long Van	Marine biodiversity	Main supervisor
Lecturer	QUACH, Ngoc.T.Khanh	Fisheries economics and management	Main supervisor
Lecturer	PHAM, Thuy.T.Thanh	Fisheries economics and management	Main supervisor
Lecturer	HO, Tuu Huy	Fisheries economics and management	Main supervisor
Lecturer	LE, Long Kim	Fisheries economics and management	Main supervisor
Lecturer	NGUYEN, Duy Ngoc	Fisheries economics and Management	Main supervisor

5. 5 構成大学提供科目表

Faculty of Fisheries and Marine Science, Sam Ratulangi University

Subjects	Semesters	Credits	Hours, Methods	Professor
Bioecology of Tropical Waters	1	3	32h Lec	Prof. KALIGIS Fontje
Aquatic & Fisheries Resources Management	1	3	32h Lec	Prof. KEPEL Rene Ch.
Fisheries Vessel Practice	1	1	32h Field	Dr. BUDIMAN Johnny
Technology of Capture Fisheries	1	3	32h Lec	Dr. BUDIMAN Johnny
Fishing Gear Technology	1	3	32h Lec	Dr. BUDIMAN Johnny
Marine Food Resources	1	3	32h Lec	Prof. BERHIMPON S.
Marine Pollution and the Health of Marine Life	2	3	32h Lec	Dr. UNDAK Suzanne L.
Tropical Marine Biodiversity	2	3	32h Lec	Prof. GERUNG Grevo S.
Tropical Aquaculture	2	3	32h Lec	Dr. TUMBOL Reiny A.
Marine Biopharmacy	2	3	32h Lec	Prof. MANTIRI Desy M.H.
Marine Biotechnology	2	3	32h Lec	Prof. RUMENGAN I.F.M.
Integrated Tropical Coastal Zone Management	2	3	32h Lec	Prof. LASUT Markus T.
12 subjects		34		

School of Fisheries and Aquaculture Sciences, Malaysia University of Terengganu

Subjects	Semesters	Credits	Hours, Methods	Professor
Marine Pollution and Fisheries		3	28 h Lec & 30 h Lab	
Fishery Molecular Ecology		3	28 h Lec	
Fisheries Limnology and Oceanography		3	28 h Lec & 30 h Lab	
Sport and Game Fishing		3	28 h Lec & 30 h Lab	
Coral Reef Fisheries		3	28 h Lec & 30 h Lab	
Fisheries Bioinformatics		3	28 h Lec	
Habitat Replenishment Areas		3	28 h Lec & 30 h Lab	
Fisheries Post-harvest Technology		3	28 h Lec & 30 h Lab	
Biosecurity and Seafood Safety		3	28 h Lec & 30 h Lab	

School of Fisheries and Aquaculture Sciences, Malaysia University of Terengganu (前ページから続き)

Subjects	Semesters	Credits	Hours, Methods	Professor
Fisheries Biosystems		3	28 h Lec	
Fisheries Product Innovation		3	28 h Lec & 30 h Lab	
11 subjects		33		

College of Fisheries and Ocean Sciences, University of the Philippines Visayas

Subjects	Semesters	Credits	Hours, Methods	Professor
Advanced Aquatic Ecology	Sem. 1	3	48 h Lec	
Aquaculture Management	Sem. 1	4	32 h Lec & 96 h Lab	
Advances in Fish Nutrition	Sem. 2	3	48 h Lec	
Advances in Hatchery Management	Sem. 2	3	32 h Lec & 48 h Lab	
Fisheries Ecology	Sem. 2	3	32 h Lec & 48 h Lab	
Advanced Fishing Technology	Sem. 1	3	32 h Lec & 48 h Lab	
Shipboard Training	S.S.	0	2 weeks or more in field	
Low Temperature Preservation of Fish	Sem. 1	3	48 h Lec	
Fish Curing and Dehydration	Sem. 2	3	48 h Lec	
Thermal Processing of Fish	Sem. 1	2	32 h Lec	
Coastal Resources Assessment and Management	Trim. 2	3	48 h Lec	
Community-Based Coastal Resources Management	Trim. 3	3	48 h Lec	
Development Communication Management	Trim. 3	3	48 h Lec	
Special Topics	Sem. 1&2/SS	3	48 h Lec	
14 subjects		39		

School of Fisheries, Kasetsart University

Subjects	Semesters	Credits	Hours, Methods	Professor
Ecology of Sediment	1/intensive	3	45 h Lec	Assoc. Prof. C. Meksumpun
Marine Biology Diversity	1&2/intensive	3	45 h Lec	Assoc. Prof. C. Aryuthaka, Dr. N. Whanpetch and Dr. Y. Monthum
Coastal and Marine Fishery Management	1&2/intensive	3	45 h Lec	Asst. Prof. J. Trisak
Fishery Resources and Management	2/intensive	3	45 h Lec	Dr. S. Wangvoralak
Fishery Resource Economics	1&2/intensive	3	45 h Lec	Dr. V. Dulyapurk
Advanced Freshwater Aquaculture	2/intensive	3	45 h Lec	Dr. S. Ingthamjitr and Asst. Prof. R. Yoonpundh
Hormone in Aquaculture	1/intensive	3	45 h Lec	Asst. Prof. O. Meunpol
Application of Chemicals and Drugs in Aquaculture	2/intensive	3	45 h Lec	Assoc. Prof. N. Areechon
Responsible Fishing Technology	2/intensive	3	30 h Lec & 30 h Lab	Asst. Prof. A. Boutson and Assoc. Prof. T. Darbanandana
Diseases of Aquatic Animals	2/intensive	3	30 h Lec & 30 h Lab	Asst. Prof. N. Chuchird
Fishery Product Biotechnology	2/intensive	3	45 h Lec	Asst. Prof. Y. Waiprib
Food Additives in Fish and Fishery Products	1/intensive	3	45 h Lec	Asst. Prof. Y. Waiprib
Marine Biotoxins	intensive	3	45 h Lec	Asst. Prof. K. Boonprab
Food Safety and Quality Management Systems in Fish Processing Plant	2/intensive	3	30 h Lec & 45 h Lab	Asst. Prof. P. Wilaipun
Fishery Product Development	2/intensive	3	45 h Lec	Dr. N. Pansawat
Instrumentation Technique in Fishery Product Research	1&2/intensive	3	30 h Lec & 45 h Lab	Dr. J. Mookdasanit
System Analysis and Management in Fish Processing Industry	1&2/intensive	3	45 h Lec	Dr. J. Maneerote, Assoc. Prof. W. Worawattanmetheekul
Selected Topics in Fishery Science and Technology	1&2/intensive	1-3	45 h Lab	Asst. Prof. M. Kaewnern and Asst. Prof. W. Klaypradit
17 subjects		53-54		

Faculty of Graduate Studies, Nha Trang University

Subjects	Semesters	Credits	Hours, Methods	Professor
Developmental Biology for Aquatic Animals	Sem. 2	3	30 h Lec, 15 h Lab	Dr. Hung Q.PHAM
Reproductive Physiology and Endocrinology	Sem. 2	2	30 h Lec	Dr. Hoang M. LE
Fish Nutrition & Aqua-feeds	Sem. 2	3	30 h Lec, 15 h Lab	Dr. Tuan A. LE
Fish Stock Assessment	Sem. 2	2	30 h Lec	Dr. Anh L. NGUYEN
Ecology and Applications in Tropical Aquaculture: Environmental Friendly and Sustainable Perspective	S.S.	2	30 h Lec	Dr. Khuong V. DINH
Genetics in Aquaculture and Fisheries	Sem. 1	2	30 h Lec	Dr. Minh V. NGUYEN
Aquatic Raw Material Handling and Processing Technology	S.S.	2	30 h Lec	Dr. Nga T.Mai
Technology of traditional Aquatic Products	S.S.	2	30 h Lec	Dr. Huong M. NGUYEN
Risk Analysis in Agri-Food Chain	Sem. 2	3	45 h Lec	Dr. Anh T. NGUYEN
Bioactive Compounds from Marine Resources	Sem. 2	2	30 h Lec	Dr. Bao N.D. HUYNH
Marine Bioactive Compounds	Sem. 1	2	30 h Lec	Asst. Prof. Nghia N. DANG & others
Ecology and Climate Change	S.S.	2	30 h Lec	Dr. Binh T. DANG & other
Marine Biodiversity	Sem. 1	2	30 h Lec	Dr. Binh T.DANG & other
Probiotic Technology in Aquaculture and Food Production	Sem. 2	2	30 h Lec	Dr. Duy V. NGUYEN
Environmental and Natural Resource Economics	Sem. 2	2	30 h Lec	Dr. Ngoc T.K. QUACH & other
Coastal Zone Economics and Management	Sem. 2	2	30 h Lec	Dr. Ngoc T.K. QUACH & other
Fisheries Economics and Management	S.S.	2	30 h Lec	Dr. Long K. LE & other
Marine Resource Economics and Management	S.S.	2	30 h Lec	Dr. Long K. LE & other
Fisheries Marketing	Sem. 2	3	45 h Lec	Dr. Tuu H. HO
Marine Nutraceuticals and Functional Foods	Sem. 2	2	30 h Lec	Dr. Han The NGUYEN
20 subjects		38		

6. 留学生プログラム

留学生プログラムは、海外からの留学生を対象に、本研究科課程修了に必要なすべての学修を英語で行うことができるように設けたものである。留学生のみが履修可能な科目を開講するなど、いくつかの特別措置を設け、学修の便を図るものである。本プログラムについて定められた特別措置のほか、就学の基本に関することは本研究科履修規則に従うので、それらを十分に理解する必要がある。留学生でも、本プログラムに登録しない場合は、本研究科の基本カリキュラムのみに従って日本語を主な使用言語とした教育を受けることになるので、十分に注意する必要がある。

6.1 プログラム履修上の注意

プログラムへの登録

留学生は、本課程に沿って学修することが推奨される。本課程に沿って学修する留学生は、入学時にプログラムに登録しなければならない。本プログラムには定員は設けない。

プログラムに従った学修

本研究科では、研究指導科目（3科目）6単位並びに専門科目及び共通科目のうち16単位が必修である。残る14単位は選択科目の履修により修得しなければならないが、これらの科目は必ずしも英語で開講されているものばかりではない。本研究科は、留学生のために「6.2 留学生プログラム推奨科目群」に示す科目を英語又は日英両語で開講しているので、プログラムに登録した留学生がこれらの科目を履修した場合、すべての学修を英語で行うことができる。

プログラム登録学生への特別措置

プログラム登録学生の場合、リーディングコースⅠをもって必修科目である英文輪読Ⅰに置き換えることができる。留学生日本語及びリーディングコースⅢは留学生プログラムの学生のみを対象とした選択科目である。

プログラム登録の取り下げ

本プログラムに登録した留学生が、プログラム登録を取り下げを希望する場合は、すみやかに届け出なければならない。なお、Ⅲ期の履修登録確定以降のプログラム登録の取り下げは原則として認められない。登録を取り下げた場合は、上記の特別措置は受けられなくなるので、注意すること。

プログラムと熱帯水産学国際連携コースの併願の禁止

本プログラムと熱帯水産学国際連携コースの両方に登録することはできない。

6.2 留学生プログラム推奨科目群

(1) 英語開講科目

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期							
				1年次					2年次		
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV	
Aquatic Sciences	鈴木・重廣・中村・小針	所属分野の 1科目指定 必修 その他は選 択	2			▲					
Fisheries Resource Sciences	西（昭）・増田・山中・庄野		2			▲					
Aquaculture	越塩・山本淳・小谷・石川		2			▲					
Fisheries Food Sciences	木村・上西・進藤・板倉		2	▲							
Fisheries Economics	佐野・佐久間・鳥居		2	▲							
Conservation of Aquatic Environment	前田・小山・吉川・宇野		2	▲							
Fisheries and Fisheries Sciences	ミゲル	選択	2		○						
Management of Tropical Fisheries	江幡・松岡（非常勤）	選択	2			○					
小計			16								

(2) 日英両語開講科目

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期							
				1年次					2年次		
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV	
高度分析・調査実習 CHE	石川・宇野・杉山	必修（左記 の6科目の 中から必ず 1科目を履 修） その他は選 択科目	1			▲					
高度分析・調査実習 BCH	小松・荒木・塩崎		1			▲					
高度分析・調査実習 BBI	小谷・吉川		1			▲					
高度分析・調査実習 SSC	鳥居・佐久間・佐々木		1	集中▲							
大学院洋上観測乗船実習	内山・中村・小針・仁科		1	集中▲							
大学院資源・計測乗船実習	内山・西・山中・安楽		1	集中▲							
洋上特別実験	幅野・指導教員	選択	1	集中○							
リーディングコース I	指導教員	選択必修	2	▲※							

(2) 日英両語開講科目 (前ページからの続き)

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期							
				1年次					2年次		
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV	
リーディングコース II	指導教員	選択	2				○				
小計			11								

※プログラム登録学生の場合、リーディングコース I をもって必修科目である英文輪読 I に置き換えることができる。

(3) その他の留学生のための科目

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期							
				1年次					2年次		
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV	
留学生日本語※	ミゲル	選択	2	○							
リーディングコース III※	指導教員	選択	2						○		
小計			4								

※留学生日本語およびリーディングコース III は留学生プログラムの学生のみを対象とした選択科目である。

7. 高等学校教諭免許(水産)の教科又は教職に関する科目に該当する科目

一種免許(水産)を取得した上でこの表の科目の中から24単位以上を修得すること。

授業科目	単 位 数	開講期						
		1年次				2年次		
		Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV
Aquatic Sciences	2			▲				
Fisheries Resource Sciences	2			▲				
Aquaculture	2			▲				
Fisheries Food Sciences	2	▲						
Fisheries Economics	2	▲						
Conservation of Aquatic Environment	2	▲						
英文輪読 I	2		●					
英文輪読 II	2					○		
高度分析・調査実習 CHE	1			▲				
高度分析・調査実習 BCH	1			▲				
高度分析・調査実習 BBI	1			▲				
高度分析・調査実習 SSC	1	集中▲						
大学院洋上観測乗船実習	1	集中▲						
大学院資源・計測乗船実習	1	集中▲						
地域水産学特別指導	2	随時○						
Management of Tropical Fisheries	2			○				
水産業の課題と未来	2	○						
総合型指導 AI	2					●		
総合型指導 AII	2						●	
総合型指導 BI	2					●		
総合型指導 BII	2						●	
総合型指導 CI	1					●		
総合型指導 CII	1						●	
リーディングコース I	2	▲						
リーディングコース II	2					○		
水圏科学特別指導	2	▲						
水産資源科学特別指導	2	▲						
食品生命科学特別指導	2	▲						
水産経済学特別指導	2	▲						
水圏環境保全学特別指導	2	▲						
洋上特別実験	1	集中○						
洋上技術特別実習※	2	随時○						
航海技術特論 I ※	2		○					
航海技術特論 II ※	2				○			
船舶工学特論 I ※	2		○					
船舶工学特論 II ※	2				○			
船舶衛生特論	2				○			
海事英語	2		○					

※三級海技士(航海)の受験資格取得に必要な科目をすべて履修する場合のみ履修できる。

8. 三級海技士(航海)の受験資格について

8.1 資格と修得すべき科目等

本研究科では、次のとおり三級海技士(航海)の学科試験(口述)の受験資格(乗船履歴)並びに免許講習修了認定及び船舶に乗り組む衛生管理者認定等を取得することができる。

三級海技士(航海)の学科試験(口述)の受験資格

鹿児島大学水産学部及び本研究科における所定の科目及び乗船実習を修得することにより、本研究科修了と同時に受験資格を取得することができる。ただし三級海技士(航海)の学科試験(口述)を受験するには、出願までに学科試験(筆記)に合格しておく必要がある。

本研究科で修得すべき科目：

洋上技術特別実習、航海技術特論 I 及び II、船舶工学特論 I 及び II
航海法規特論、船舶機関学特論、船舶運用学実習

免許講習の課程の修了認定

鹿児島大学水産学部及び本研究科における所定の科目及び乗船実習を修得することにより、本研究科修了と同時に免許講習の修了資格を取得することができる。

免許講習の種類：

レーダー観測者講習、レーダー・自動衝突予防援助装置、シミュレーター講習
救命講習、消火講習、上級航海英語講習

本研究科で修得すべき科目：海事英語

船舶に乗り組む衛生管理者認定

鹿児島大学水産学部及び本研究科における所定の科目及び乗船実習を修得することにより、本研究科修了と同時に船舶に乗り組む衛生管理者の認定資格を取得することができる。

本研究科で修得すべき科目：洋上技術特別実習・船舶衛生特論

※上記に関して、学士課程の段階で修得すべき科目は水産学部履修の手引を参照のこと。

8.2 海技士養成科目群

授業科目	担当教員	必修・ 選択	単 位 数	開講期						
				1年次				2年次		
				Ia	Ib	SS	IIa	IIb	III	IV
航海技術特論 I	山中	選択科目 (ただし、 すべての科 目を履修し なかった場 合、自由科 目とする)。	2		○					
船舶工学特論 I	重廣		2		○					
航海法規特論	山中		2		○					
海事英語	山中		2		○					
航海技術特論 II	山中		2				○			
船舶工学特論 II	重廣		2				○			
船舶衛生特論	非常勤		2				○			
船舶機関学特論	非常勤		2					○		
船舶運用学実習	山中		2					○		
洋上技術特別実習	内山・指導教員		2	随時○						
小計			20							

※すべての科目を履修する学生がいる場合のみ開講する。

9. 全学横断的教育プログラム

近年の学問の学際化・融合化により、幅広い分野の知識と柔軟な思考能力を持つ人材が求められており、本学ではこれらの社会の要請に応えるための取組のひとつとして大学院の教育目標に沿って、大学院を横断して体系的に履修するまとまりのある全学横断的教育プログラムを創設している。本プログラムはすべての研究科の学生を対象としており、このプログラムを受講することにより、総合的な理解や専門分野で得た知識・技術を活かす能力を養うことを目標としている。

共通科目として、「外国語コミュニケーション教育コース」、特別コースとして、「島嶼学教育コース」、「環境学教育コース」、「食と健康教育コース」、「水教育コース」、「エネルギー教育コース」がある。履修申請は、指定された期間内に水産学部学生係で行うこと。また、本プログラムの詳細は大学のホームページに掲載するので確認すること。

「シラバス」は、【「鹿児島大学ホームページ」→「教育・学生生活」→「大学院の講義概要(シラバス)」】で、講義に関する掲示や連絡等は【「鹿児島大学ホームページ」→「教育・学生生活」→「大学院共通科目履修案内」】で確認すること。

9. 1 共通科目

(1) 外国語コミュニケーション教育コース

外国語コミュニケーションに関する科目群を履修することにより、大学院生に必要とされる英文構築力や読解力の修得を目指すものである。

講義科目名	担当教員	科目開設研究科
リーディング&ライティング(文系)	高橋玄一郎	教育学研究科 (教育センター)
リーディング&ライティング(理系)	金岡正夫	
プレゼンテーション・スキルズ(文系)	ブレイジア アン	
プレゼンテーション・スキルズ(理系)	トレマーコ ジョン	
特殊目的の英語教育 I	坂本育生	教育学研究科
特殊目的の英語教育 II	坂本育生	
実用英語 S	松元貴子	水産学研究科
Fisheries and Fisheries Sciences	バスキス アーチバル ミゲル	
理工系グローバル人材育成の為のアカデミック・イングリッシュ	宮下和子	理工学研究科
英語で学ぶ生命科学	草野秀一	医歯学総合研究科

9. 2 特別コース

(1) 島嶼学教育コース

島嶼に関する多様な授業科目を履修することにより、国際島嶼社会において活躍できる知識や技術の修得を目指すものである。

講義科目名	区分	担当教員	科目開設研究科
島嶼学概論 I	コア 科目	山本宗立	人文社会科学研究科 (国際島嶼教育研究センター)
島嶼学概論 II		河合 溪	農学研究科 (国際島嶼教育研究センター)
文化人類学特論	オープン 科目	桑原季雄	人文社会科学研究科
離島・遠隔保健特論		丸谷美紀	保健学研究科
国際農業資源学特論		遠城道雄	農学研究科
太平洋島嶼学特論		山本宗立	農学研究科 (国際島嶼教育研究センター)
Management of Tropical Fisheries		江幡・松岡 (非常勤)	水産学研究科

Tropical Fisheries	オープン 科目	石崎宗周	水産学研究科
水圏生態学特論		佐藤正典	理工学研究科
離島医療学		嶽崎俊郎	医歯学総合研究科
生活安全学（3コース共通）		飯干 明	教育学研究科

(2) 環境学教育コース

環境問題に関する科目群の履修によって環境問題を総合的に把握し、産・学・官それぞれの立場において、我が国の環境問題をリードする人材の育成を目指すものである。

講義科目名	区分	担当教員	科目開設研究科
総合講義(地球温暖化と代替エネルギー)(環境学・エネルギー教育コース共通)	コア科目	市川 英孝	人文社会科学研究科
環境生物学特論		川西 基博	教育学研究科
Aquatic Sciences		中村 啓彦	水産学研究科
フィールド環境学特論		鈴木 英治	理工学研究科
環境化学特論		富安 卓滋	
環境経済学特論	オープン 科目	福山 博文	人文社会科学研究科
森林環境学特論		井倉 洋二	農学研究科
農地保全学特論		平 瑞樹	
災害地質学特論		井村 隆介	理工学研究科
植物生態学特論		鈴木 英治	
水産業の課題と未来(環境学・食と健康教育コース共通)		横山佐一郎	水産学研究科
健康増進医学		堀内 正久	医歯学総合研究科
生活安全学(特別コース共通)		飯干 明	教育学研究科

(3) 食と健康教育コース

食と健康について多様な視点からの理解を深めるとともに、食を通じて積極的に健康をつくる能力や食と健康に関する課題を発見・解決する能力の養成を目指すものである。

講義科目名	区分	担当教員	科目開設研究科
食と健康 I	コア科目	高峯和則	農学研究科
食と健康 II		安部淳一	
農業政策論演習	オープン 科目	北崎浩嗣	人文社会科学研究科
酒類文化社会学特論		高峯和則	農学研究科
青果保蔵学特論		渡部・濱中	
国際バイテク・リーダー育成		岡本繁久	
農業経済学特論		田代正一	
食品分子機能学特論		侯 徳興	
熱帯作物学特論		坂上潤一	
食料環境システム学特論 II		紙谷喜則	
Fisheries Food Sciences		木村・上西・進藤・板倉	
水産業の課題と未来(環境学・食と健康教育コース共通)		横山佐一郎	
知的財産戦略構築実務論		福島誠治	理工学研究科 (産学官連携推進センター)
技術経営と社会連携		福島誠治	
医科栄養学		堀内正久	医歯学総合研究科
生活安全学(特別コース共通)		飯干 明	教育学研究科

(4) 水教育コース

地域における人と自然と水の関わりに注目しながら、現代の水問題を学際的な視点から総合的に把握できる能力の育成を目指すものである。講義科目のほか、鹿児島県内の現場の視察、現地の技術者との意見交換など、フィールドワークの機会も提供する。

講義科目名	区分	担当教員	科目開設研究科
水科学特論Ⅰ	コア科目	榎井和朗	農学研究科
水科学特論Ⅱ		前田広人	水産学研究科
小水力発電とコミュニティ・ビジネス（水・エネルギー教育コース共通）	オープン科目	西村 知	人文社会科学研究科
国際開発経済論特論		西村 知	
水資源学特論		榎井和朗	農学研究科
砂防学特論		地頭菌 隆	
土砂水理学特論		齋田 倫範	理工学研究科
環境水理学特論		安達 貴浩	
水圏環境保全学特別指導		小山・前田	水産学研究科
生活安全学（特別コース共通）		飯干 明	教育学研究科

(5) エネルギー教育コース

エネルギー政策を多様なスケールから俯瞰することにより、その利活用や重要性への理解力を育成するとともに、多様なエネルギーから最適なものを選択するプロセスの修得を目指すものである。平成 27 年度後期から開講される。

講義科目名	区分	担当教員	科目開設研究科
総合講義(地球温暖化と代替エネルギー)(環境学・エネルギー教育コース共通)	コア科目	市川英孝	人文社会科学研究科
エネルギー政策総論		市川英孝	
ダイバーシティ人材育成論		市川英孝	
エネルギー概論		市川英孝	
小水力発電とコミュニティ・ビジネス（水・エネルギー教育コース共通）	オープン科目	西村 知	人文社会科学研究科
数値熱流体工学特論		片野田洋	理工学研究科
熱機関工学特論		木下 英二	
熱環境特論		二宮 秀興	
反応工学特論		甲斐 敬美	
コロイドプロセス特論		平田 好洋	
電気エネルギーシステム特論		川畑 秋馬	
パワーエレクトロニクス特論		山本 吉朗	
セラミックス工学特論		鮫島 宗一郎	
分離工学特論		二井 晋	
海洋物理環境学特論		山城 徹	
森林計画学特論		寺岡 行雄	農学研究科
生活安全学（特別コース共通）		飯干 明	教育学研究科

9.3 特別コースの修了証の授与について

特別コースのそれぞれの教育コース科目を 8 単位以上（コア科目 4 単位以上を含む）修得することで、学生の申請により研究科課程の修了時に、学長が特別コースの修了証を授与する。